

#### ④収納のポイント

使うモノは取り出しやすくしましやすい所に

ある程度不要なモノを持たない生活を始めたら、いよいよ「収納」のポイントについてです。「収納」は①しましやすい(取り出しやすい)、②誰にも分かりやすい(どこに何があるのか)、というのが理想です。これまで「収納」とは使わないモノを大量にしま込むことではないと説明してきました。いかに使いやすい形にするかがポイントです。



### 暮らし研究所 How 住まい」主宰 神村さゆり 整理収納アドバイザー1級・一級建築士 整理収納アドバイザーからの手紙 ⑤

使いやすさを数値で表すこともあります。その一つが「アクション数」です。モノを取り出すための一つ一つの行動をアクションと呼びます。

例えばペンを取る、という行動を考えてみましょう。まず一つ目。目の前のペン立てにあるペンを取り出す。もう一つは扉付きのクロゼットの中の箱にペンケースを置いてあって、その中のペンを取り出すという方法です。

前者は①ペンを取る、だけですからアクション数は「1」です。

後者は①クロゼットの扉を開ける。②箱を取り出す。③箱を開ける。④ペンケースを取り出す。⑤ペンケースを開ける。⑥ペンを取り出す。このように「6」つのアクションを行わなければいけません。

さて、手間が掛からないかのはどの方法か、一目瞭然ですね。アクション数の少ない収納が使いやすい収納となります。ですから、ものぐささんはアクション数の少ない収納を目指すとよいのです。

上の例は使うときのアクションを見てみましたが、しまうときのアクションもこれと同じです。つまり元に戻しやすい収納=取り出しやすい収納です。

同居している家族にとってもそうです。扉を開けて中の箱を取り出し、またその箱を開けて中を取り出す。そんな収納だと、使うために取り出した後はしまうのがおっくうになってしまいます。

#### 暮らし研究所からのお知らせ

整理収納アドバイザー2級認定講座11月21日(日)22,500円(定員8人)  
整理収納プチセミナー11月14日(日)2,500円お子様連れ可(500円追加)お茶菓子付き(定員6人)  
住所、氏名、電話番号を明記の上、FAX(897-1722)またはインターネット  
<http://www.kurashi-ken.net/>よりお申し込みください。お問い合わせ 電話090-1364-5377